

かすたねっと

54号



幼児教育の現場で活躍する男性。

市内で保育士として働く男性にお話を聞きました！



毎日「変化があり」、「成長があり」、「時にはトラブルもあり」といったことがすべて経験できるすばらしい職業だと思います。

鈴木 翔さん
小牧市立第二保育園 保育士

平成19年より小牧市役所勤務。大城保育園、篠岡保育園、大山保育園を経て現在に至る。現在は、第二保育園ぞう組(年長)を担当。

保育士を目指そうと思ったきっかけを教えてください。

中学校の時の職場体験で、「子どもと遊ぶことが仕事になるなんていいなあ」と思ったことがきっかけです。

先生にとって保育士はどのような仕事ですか。

毎日「変化があり」、子どもたちの「成長があり」、「時にはトラブルもあり」と色々なことが経験できる、すばらしい職業だと思います。

子どもには、私たち大人の考え方が通じないこともたくさんあるため、子どもの話をじっくり聞いて、臨機応変に対応しなくてはなりません。「そういう考え方もあるんだ」と子どもたちに教えてもらう毎日です。

男性保育士として心がけていることはありますか。

市内の男性保育士は7人で、現職場(第二保育園)では私だけです。職場の雰囲気は良く、他の保育士の方々とも気兼ねなく相談することができ、楽しく仕事しており、男性であるということを意識することはありません。

お母さん方からは最初構えられることもありましたが、「お子さんが今日初めて逆上がりができるようになりましたよ」と、自分から積極的にコミュニケーションを取ることによって受け入れていただけるようになりました。

仕事の内容を教えてください。

今は年長組(5歳・6歳)を担当しています。年長ですので生活面において、ある程度自立はしていますが、排泄や食事のマナー、一緒に場所での生活ルールなども覚えていけるようにしています。

また、けんかをした時など、「子どもたちで解決できるか」「どのようにしたら仲良く遊ぶことができるか」など、子どもたちの中に入り、一緒になって考え、アドバイスをしています。

これから子どもたちとどのように関わっていきたいですか。

まだまだ、子どもたちの持っている「能力」や「可能性」を十分に引き出させてあげられていない自分に力不足を感じています。これから多くの経験を積み重ね、子どもたちと積極的に関わりを持ち、子どもたちの本当の気持ちや心の言葉を読み取ってあげられるようになっていきたいと思います。

また、これから始まる小学校生活に無理なく適応ができるように、保護者の方とも積極的にコミュニケーションを取っていく必要があると思っています。

保育士をしていてよかったと思うことはどのようなことですか。

子どもたちが毎日成長していく姿を間近で見ることができます。

また、卒園する時に子どもたちからもらう手紙に「先生、ばくのこと忘れないでね」と書いてあった時や、最初は「男性保育士はちょっと不安…」といった表情の保護者の方から、卒園式に「先生に担当していただいてよかった」と笑顔でおっしゃっていただいた時に、保育士をしていてよかった、と実感します。

これから男性で保育士を目指す方へメッセージをお願いします。

私が「保育士になろう」と短大に入学した時、200人のうち男性は6人しかおらず、男性で保育士を目指す人は少数でした。卒業後、保育士として働き始めようとした時は、「女性ばかりの職場でやっていけるだろうか」と不安になりました。しかし、私の場合、勤務した職場に男性の先輩保育士がおり、その方に相談することで不安な気持ちや仕事の悩みを解消することができました。

実際の保育現場では、男女問わず「子どもとふれあうことが好き」という気持ちで働いている方ばかりで、男性が働く職場として敷居の高さを感じることはできません。

保育士は誰でも活躍できる仕事だと思いますので、是非チャレンジして欲しいと思います。

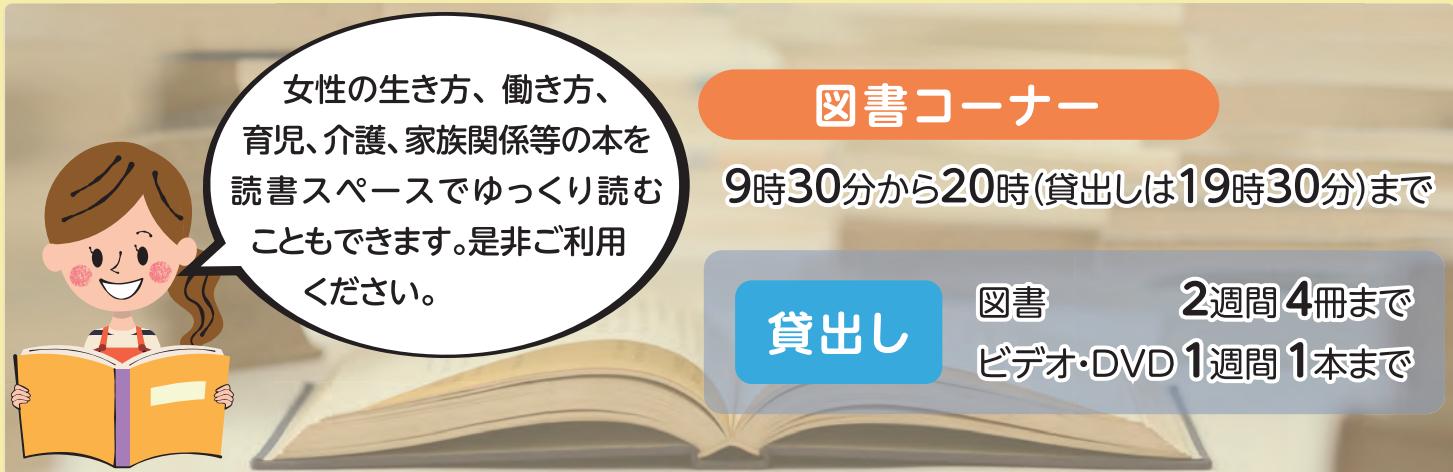
「自分の思いを大切に、
男女共同参画社会の実現に向けて」

今、性別にとらわれず、様々な職場で働く人が増えてきています。

「好きだから、得意だからなりたい。」そう思い続けて夢をかなえ、仕事を頑張っている先輩たちがたくさんいます。

誰もが自分らしく生きられるように、お互いを尊重し合いあらゆる分野で個性と能力を充分に發揮できる男女共同参画社会をつくりあげていきましょう。





図書コーナー本の紹介

「土木女子!」

株式会社 清文社 清文社編集部



今までどちらかというと、男性が多かった土木関係の仕事にも、少しずつですが女性が進出するようになりました。この本を開くと、まず土木の仕事に就く女性の輝く笑顔!とポジティブに挑戦する姿が目に飛び込んできます。多種多様な土木の仕事に就く女性を紹介し、「土木女子のおひるごはん」、「土木女子への道」、「土木女子の一日」など、楽しく読める内容になっています。まだまだ、建設業に占める女性の割合は少ないですが、この本を参考にしていただき、多様な職業の選択の参考にしていただければと思います。

「働くための「話す・聞く」」

コミュニケーション力って何? 株式会社ペリカン社 上田 晶美著



日常生活や働く場所などあらゆるところで、「コミュニケーション力」は必要です。ただ、「コミュニケーション力」といつても漠然としていて、実際にどのようにその力をつけていいか、解らない方も多いのではないでしょうか。この本は客室乗務員、営業、技術者等いろいろな職業の方に「コミュニケーション力とは何か」をインタビューしています。皆、最初は失敗したり悩んだりしながら、「コミュニケーション力」を身につけ、その力を継続させるよう日々努力しています。コラムも読みやすく、一話ずつ日常生活に参考になる内容になっています。

男女共同参画単語帳

エスディージーズ

SDGs(持続可能な開発目標)

今ある世界のさまざまな問題を解決し、「人間がずっと地球に住み続けられるように開発・発展する」にはどうしたら良いか、国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標。その目標は17あり、その中の5番目として「ジェンダー平等を実現しよう」という項目があげられている。

固定的性別役割分担

男女を問わず個人の能力等によって役割を決めることが適当であるにも関わらず、「男は仕事・女は家庭」、「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等のように、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に分ける考え方のこと。